

平成 20 年 3 月 22 日

北関東フォーラム

中齋塾 北関東フォーラム
平成 20 年 第 3 回講話

恒例でございます。では、いつもの質問を致します。

「昨日一日、嘘をつかなかった方？」

・・・(沢山手が挙がる)

手が挙がらない方は、自分の欲で嘘をついてしまったのでしょうか。相手の為になるとか社会の為になるような嘘であれば良いと思います。人間関係が目先ちょっと悪くなったり家庭の中が少し小波が立つような場合でも、大局観に立って長い目で見て、これは良いことに直結するという嘘であれば私は良いと思っています。

では、先月 1 ヶ月間を振り返って下さい。

「1 ヶ月間、嘘をつかなかった方、手を挙げて下さい」

・・・(2、3 人手が挙がる)

東京フォーラムで同じ質問をすると、いつも「はい」と手が挙がる方がいます。その方は毎朝嘘をつかないと決めて、夜寝る時は嘘をつかなかったか検証をするそうです。皆さんも朝晩でなくても結構ですから、一日一回どこかで“今日は嘘をつかなかっただるか”もしくは“嘘をつかないようにしましょう”と思って戴くと、非常に爽やかな一日、そして一ヶ月が過ぎると思います。自分自身の生活習慣にして戴ければ有難い。

もう一つお聞きします。

「昨日一日、目先の欲につられて動かなかった方はおられますか」

・・・(沢山手が挙がる)

目先の欲につられて動かない。これも人生生きていく上で非常に大きなものでございます。最後の質問です。

「昨晚眠る時に、今日一日満足できたと思って眠りについた方はどうでしょうか」

・・・(多少手が挙がる)

眠る時に、“今日一日満足したか？”と思い直しをする時に、何処かでちょっとでも“良かったな”と思う事があります。それをずっと考えることによって、良かったなと思う気持ちが広がっていきますので、そうすればしめたものです。夜眠る時に、今日は良かったなと思って眠るように努力して戴くようお願い致します。

東京フォーラムで質問を戴きました。論語の「子曰く、朝に道を聞かば、夕に死すとも可なり」の解説と、孔子の心境をお聞きしたいという質問です。

又、別の会員さんから、政府系ファンドはどこが運用管理をするのでしょうか？ という質問と、調査捕鯨の妨害行動の裏にあるものとは何でしょうか？ という質問が出ました。

まず「子曰く、朝に道を聞かば、夕に死すとも可なり」について説明を致します。

「道」とは人間としての悟りです。「人生如何に生きべきや」ということについての命題です。これが朝起きた時に分かったという事であれば、夕方自分は亡くなってもかまわない・・・このように普通は捉えます。

又この言葉は、明治維新の志士たちが金科玉条として、ここからエネルギーを貰った言葉です。日本が夷狄（外国）から攻められて植民地化されるという事が、明治維新の志士たちには常識になっていました。外国の属国になるのではなく、日本として理想の社会を作り上げようと精一杯努力したわけですが、「道」という言葉をそう捉えたのです。

自分の生きていく国を理想の社会にする為に、私は努力をする。自分が信ずる事に全身全霊をかけて取り組んで、その結果命がなくなっても悔いはない。自分の志の為に、その時その時を捧げ尽すという考え方で、「子曰く、夕に死すとも可なり」という言葉が金科玉条になったと、渋澤栄一さんの『論語講義』の中に解説してあります。ですから明治維新の志士たちのおまじないのようなものだったと感じます。

言葉は「言霊」と言います。言葉によってエネルギーが身体中の奥深い所から湧き上がってくる事もあるし、人の心を傷つけて死に追いやる事もあり得る。言葉の力をよく噛みしめてお読みになるとよろしいでしょう。

次に調査捕鯨の話をしします。

国を動かす人達が、国民の目を横にそらしたい。横に反れている間に自分の狙っている事をやっってしまうという事がよくあります。調査捕鯨の妨害活動も、そのように使われているように感じます。

日本人が鯨を食べる事を野蛮な国だという一点に絞って、調査捕鯨すら妨害するわけです。この間は、薬品を詰めたものを船に投げ入れて、それで日本人が怪我をした事例があったばかりです。そういう事をする団体を陰に陽に助ける国があるから、妨害活動が行われるわけです。しかも妨害活動する人達を英雄視するような動きがあります。例えばオーストラリア、中国、アメリカといった国々です。アメリカなどは、日本人が鯨を食べる事

がなんと残酷な事かと喧伝し、日本がそれに対抗している間に、その裏で何が起きているかといえば、マグロを日本人がなかなか食べられなくなってしまったわけです。

調査捕鯨の妨害の影に何が起きているか、よく調べてみる必要があると思います。アメリカの動き、オーストラリアの動き、ノルウェーは少し違いますから、そこを除いて他の国々を見ると、調査捕鯨を妨害する事によって自分たちの国の利益になるような活動をしています。

今私が申し上げているのは知識です。皆さんが考えるきっかけ・ヒントを差し上げているわけです。情報を聞くだけでは、素通りになって心に残りません。自分で辞書を引くなりネットで調べるなりして、情報を知識とし、更に見識を深めて戴きたいと思います。調査捕鯨に関しても、＜日本の主張はどうすべきか＞＜自分はこうしたい＞という事を考えて戴きたい。何か問題が起きた時に＜どうすべきか＞を考えることは、見識です。そして＜どうすべきか＞を実行する時には、胆識がなければ実行できません。知識・見識・胆識を身に付けて戴くための話を、この順序を通じて申し上げます。

もう一つの質問、政府系ファンドについてお話し致します。

最近、自民党が政府系ファンドの勉強会を始めたという記事が載っていました。政府系ファンドというものは、三つ条件があります。一つは、国家オーナーのような、国を動かす力を持っているような人達のお金を用いること。政府のお金そのものを使うことはしません。残り二つは次回の宿題に致します。お考え戴ければ有難いと存じます。

はっきり言える事は、アメリカがどんどん悪くなって、基軸通貨としてのドルが揺らぎ出した。最近の報道では、サブプライムローンで78兆円くらいの損出が見込まれるという凄まじい金額になってきています。アメリカの金融機関がどんどん駄目になって来ている。イギリスでも一つ、銀行が国営にさせられました。サブプライムローンの負の効果は、世界全体に広がっていると感じます。アメリカの金融機関が万歳しかけた所に、中東のお金が入って来ました。他にもロシアのお金、中国のお金、シンガポールのお金・・・そういうものが、政府系ファンドという名前で動いています。政府系と「系」が付くところに意味があると私は思っています。ここではっきり見える事は、アメリカがどんどん駄目になって来ている、新興成金国家のお金が基軸通貨に取って代わろうという動きを始めています。それを象徴しているのが政府系ファンドの動きだろうと思います。ですから自民党の動きとは、根っこの部分で大分違うような動き方だと感じます。

私は新聞を見たりテレビを見たりする時に、必ず半々、又は斜に構えて見えています。新聞記事には脚色が入りますし、先に予断が入ります。ですから私は新聞は信用できないと

思っています。最近は特に、各新聞が主張を色濃く出してくるようになりました。ですから眉唾ではないかと疑いの目を持って、最低二紙くらいは読んで欲しいですね。

中斎塾フォーラムの基本哲学は「知足」です。

前にも申し上げました、新型インフルエンザのマスクに関して、中斎塾フォーラム参与の或る方が、シキボウと動物疫学研究所が共同開発したマスクを、依頼を受けて中国で生産を始めました。その時に参与は「足るを知る」という考え方で提供したいと考えて始めたそうです。「儲けようと思ってやるのではない。知足の心で、世の中の為になることだからマスクを頒布したい。買う方が喜んで、代理店の方も喜んで戴くような販売方法でゆきたい。結果的に自分も少し喜ぶような、皆が喜ぶような販売方法にしたい。これは知足主義ではないでしょうか。」と言っておられました。ビジネスでそういう考え方が出来たというのは、非常に有難いと思っています。

自分自身の個人の動きについても、あまりがっつかないで、ほどほどにしようではありませんか。4月からメタボリックシンドロームに関して、特定検診が始まります。男性は腹囲85cm以上、女性が90cm以上で、その他に高血圧や糖尿病の数値が基準以上であれば、立派なメタボ該当者です。あるお医者様から聞いた話ですが、後期高齢者保険のお金を運用する為に、1000億円くらいをメタボで国民から徴集したいというのが政府の思惑だそうです。社員の中でメタボリック症候群と認定された人がいると、その会社はペナルティーを受けるのだといいます。山田方谷の理財論をご説明した時に、国が滅びる時は考えられないものにまで、ありとあらゆるものに税金をかけるというお話を致しました。ですからこれは国が滅び始めている兆候だと考えられます。

「足るを知る」という考え方で色々な視点でものを見る時に、知識・見識・胆識を進める上においても、本質・大局・歴史という判断の三原則で見て戴きたい。大局は、色々な視点・色々な立場で見る。本質は、狙いは何か・目的は何かを考えることです。歴史は、過去の経緯を調べてみます。

個人の立場でメタボを考える。会社の立場で考える。政府の立場で考える。更に他の国々はどうなのかを考える。色々な視点で見てくださいという事で、メタボを例に出しました。

本日ご紹介します『論語講義』の渋澤栄一さんは、色々なもので「足るを知る」人生を送ったように思います。ただ、飽くなき事業欲はありました。日本に株式会社という制度

を導入し、定着させ、日本の国力を更に増したい。事業欲によって日本の国を良くしたいということで、渋澤栄一さんの「足るを知る」は、もの凄く要求が高い中で動いていたと思います。事業欲はもの凄いものがありました。但し自分で自分の身を律していました。岩崎弥太郎と渋澤栄一の屋形船問答は有名です。どちらも大隈重信に縁を戴いて明治政府に仕えたわけですが、かたや合本主義、かたや独裁主義です。

三菱の事業は株式会社の体を成すといえども、すべて岩崎弥太郎一個人に帰する。そのかわり利益も損失もすべての責任を負うというのが岩崎弥太郎の考えです。渋澤栄一は大衆からお金を集めて、その資本を元にして世の中の為になる事業をしていくという考え方です。屋形船の中でお互いに喧々諤々し、これは資本主義に関する学問的論争の嚆矢に当たると言う位置付けになっています。

渋澤栄一さんは、土地を買い占めない・株の買占めもしないという事を生涯通していました。「足るを知る」「利によりて行なえば、怨み多し」という考え方がベースにあったと捉えています。

「足るを知る」という言葉から、話を色々と広げました。知識を仕入れて色々な所に枝葉を広げていくと、集約する時パズルのように当てはまります。その時に見識になります。ですから出来る限り知識を持たれると良い。

先ほどのメタボについても、個人・企業・政府、そして歴史の視点で考えて、そこで山田方谷の理財論がピタッと収まると、日本はどんどん坂道を転がっているという見解が生まれます。それが見識に繋がっていく。その次に胆識として、国民としてどういう手を打てば良いか、個人としてどういう手を打てば良いか、という考え方が出て来ます。

以前、文明法則史学についてお話しをしました。一つの文明が誕生し、発達し、衰退する。その周期が800年と言われます。それから200年くらいの転換期を経て、又次の文明に移行していきます。今現在は西洋文明が衰退期に入り、東洋文明に移行しようとしている転換期です。なるほどなと思っています。文明が衰退し、次の文明が誕生する転換期であれば、当然一つの国家が減びたり生まれたりする事は当たり前の事だし、一つの政府がバトンタッチをする事も当たり前のことだと思っからです。今、日本の国がどんどん滅びの道に向かって進んでいます。経済的に破綻を起こすという事は、自明の理であると思います。

昨年一昨年と、ロシア・アルゼンチン・ペルー・ブラジル・トルコといった、経済破綻を起こした国々を回りました。今年は、温暖化現象によって悪影響を被る国々を見て回りたいと思っています。来月はブータンに行くつもりです。ブータンは温暖化でヒマラヤの

氷河が溶けてブータンが水没する危険性が高いと聞きます。又GNH（国民総幸福量）という考え方を打ち出している国ですから、是非見に行こうと思っています。色々な国へ出かけて色々な話を聞く。その一歩先に行って心を付ける。心眼・心耳で見て体験をする事によって、更に思考が深まっていきます。

知識として色々な話を致しましたので、聞いているうちに分からなくなってくるかと思えます。でもそれで良いのです。出来る限り色々な知識を仕入れていって、最後にキーワードになるような言葉がポンと見つかったら、全部が一体化してきます。一見脈絡のないものでも、興味を持って見るところで繋がります。こういうような進め方をする事によって、基礎ができて参ります。何にでも興味を持つようになります。

ものの考え方には、掘り下げていく考え方（沈潜）と蜘蛛の巣のように広げていく考え方（拡大）があります。今日は拡大の考え方で色々を紹介しました。

西洋の考え方は、分析・分解です。東洋は、広がりすぎたものを総合的にまとめていく考え方です。今日勉強したのは、西洋的ものの考え方の手法です。そして広げていった中で、キーワードが一つ出たら、バイパスが繋がります。バイパスが繋がった時は、東洋的手法で言えば「悟り」という言葉になります。

中斎塾フォーラムでは、ものの考え方を拡大し分析する手法をとって、最終的には東洋的なものの考え方「悟り」に繋いでいこうと思います。それが具体的な実行力を生む時は、胆識という言葉で説明が出来ます。

本日お話しさせて戴いて、皆さんに是非持って帰って戴きたいのは、調べてみようかなという気持ちが起きるかかどうかです。色々な事を聞いて何か気になったら調べてみる。ネットを検索する。行動を起こして確認する。そういう気持ちが起きるかどうかが鍵です。行動・動く・・・陽明学でいう所の事上磨練です。自分の日常の行動を通じて自分を磨き、磨かれたという実感、これらを事上磨練と言います。

本日は以上で終了と致します。有難うございました。